日本気象学会 第56回夏季大学

気候変動とその影響

2022年8月6日（土）10:00～16:00

7日（日）10:00～16:00

開催形態：オンライン開催

定員：最大 200 名

参加費用：2000 円（郵便振替/クレジット決済等）

詳細：https://www.metsoc.jp/about/educational_activities/summer_school

参加登録フォーム：https://forms.gle/W4AVHM9uo48g3ERi6

登録期限：7月27日（水）

© 統合的気候モデル高度化プログラム

■ 講義プログラム

8月6日（土）10:00 - 16:00

10:00～10:10　開講の挨拶

10:10～11:10　日本の気候変動2020とIPCC第6次評価報告書　笹野大輔（気象庁）

11:20～12:20　気候モデルの発展の歴史　佐藤正樹（東京大学）

13:30～14:20　地球の温度上昇予測に大きなばらつきがあるのはなぜか？ー答えは、雲ー　川合秀明（気象研究所）

14:30～15:20　気象・気候のデジタルツイン？：NICAMによる高解像度シミュレーション　中野満寿男（海洋研究開発機構）

8月7日（日）10:00 - 16:00

10:00～10:50　北極圏の温暖化による遠隔気候影響　森正人（九州大学）

11:00～11:50　洪水災害に対する気候変動の影響と適応　佐山敬洋（京都大学）

13:00～13:50　ヒートアイランドと温暖化：ヒートアイランド対策と暑さ対策は違うのか？　日下博幸（筑波大学）

14:00～14:50　世界の穀物生産における気候変動影響と適応　飯泉仁之直（農研機構）

15:00～15:30　学習到達度試験

©ポスト「京」重点課題４、NASA

主催：日本気象学会 教育と普及委員会　後援：気象庁、日本地学教育学会、気象業務支援センター、日本気象予報士会

問い合わせ先：教育と普及委員会（msj-ed_2022@metsoc.or.jp）